

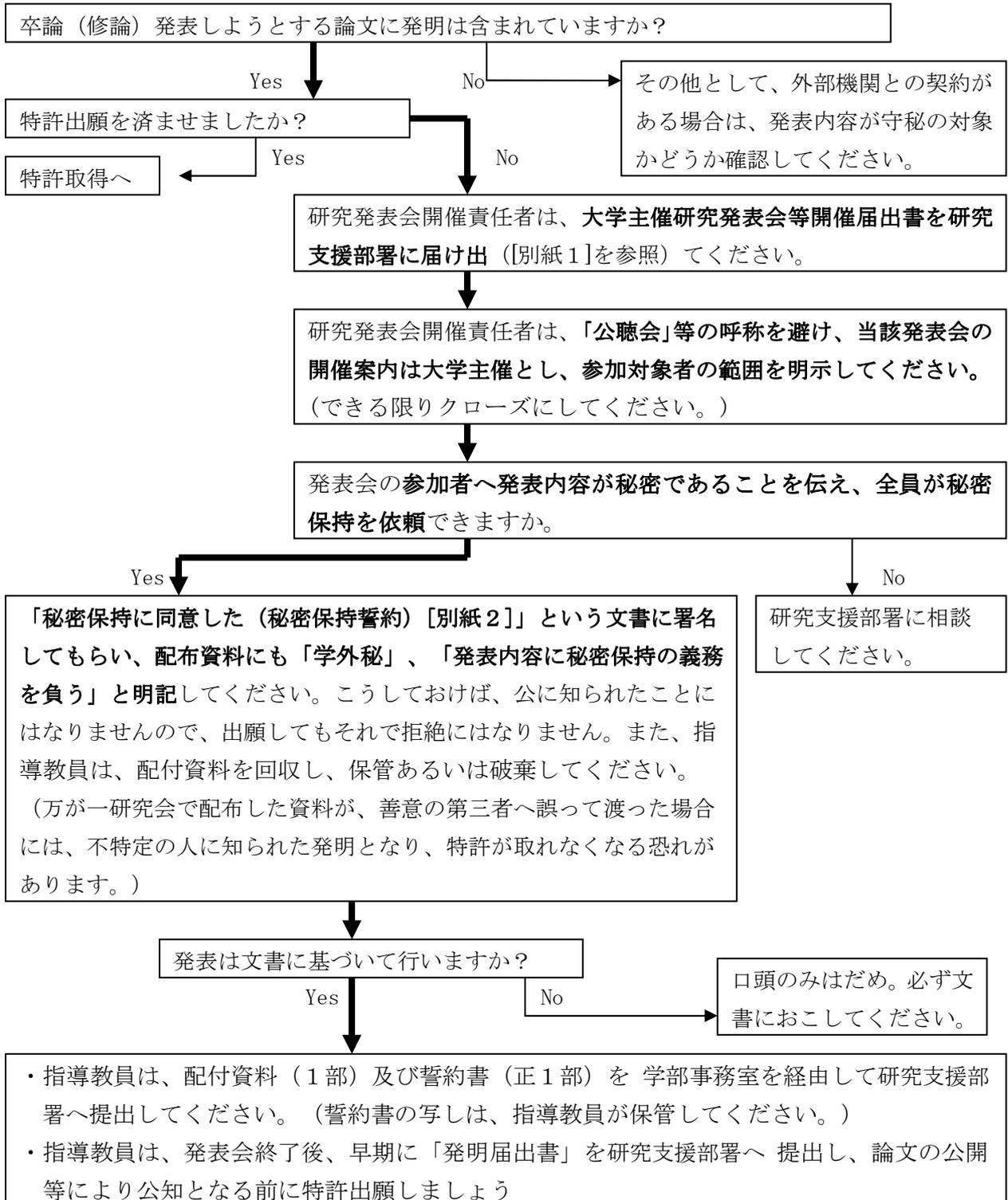
卒論、修論の発表予定日の直前になって発明が完成した場合の対応

1. 原則

発表内容に発明を含むかどうかの判断は、当該発表を統括する指導教員に委ねることとします。なお、発明を含むかどうかの判断に迷われる場合は、速やかに研究支援部署にご相談ください。

また、本運用は、卒業研究、修士論文における単位認定を妨げるものではありません。

2. 運用フロー



【注意事項】 特許出願が終了するまでに発表会に関係した部署が行うこと

a) 指導教員：

学生の論文について、「論文のCD化」、「論文の冊子化」、「紀要への要約提供」が行われないよう秘密の状態を保持する。

b) 学部・学科事務室：

特許出願が終了するまで提出された学生の論文については、「論文のCD化」、「論文の冊子化」、「紀要への要約提供」を行われないよう管理する。

【留意事項】

上記対応がとれない場合や問題が生じた場合は、研究支援部署に相談してください。

また、大学主催研究発表会等開催届出書の提出を求めるのは、万が一守秘状態を保てなくなった場合の予防策ですので、ご了解ください。

[別紙1]

大学主催研究発表会等開催届出書

年 月 日

〇〇〇大学長 殿

〈研究発表会開催責任者〉

所 属

職 名

氏 名

印

連絡先

以下のとおり大学主催の研究発表会等を開催しますので、下記のとおり届け出ます。

記

1. 研究発表会等の名称 :
2. 開 催 担 当 (例: 〇〇学部 (〇〇研究科)、〇〇課程 (専攻) 等)
:
3. 開 催 期 間 :
4. 開 催 場 所 :
5. 発表会開催の目的 :
6. 発 表 者 数 :
7. 当該発表会に係る資料の発行日: 年 月 日
8. その他特記事項 :

以上

